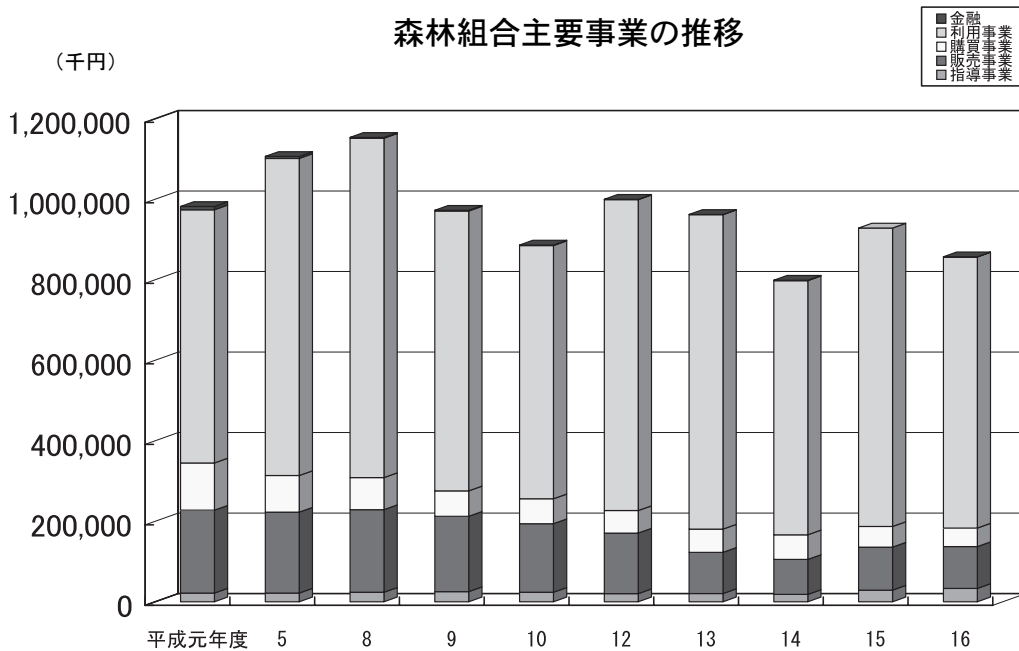
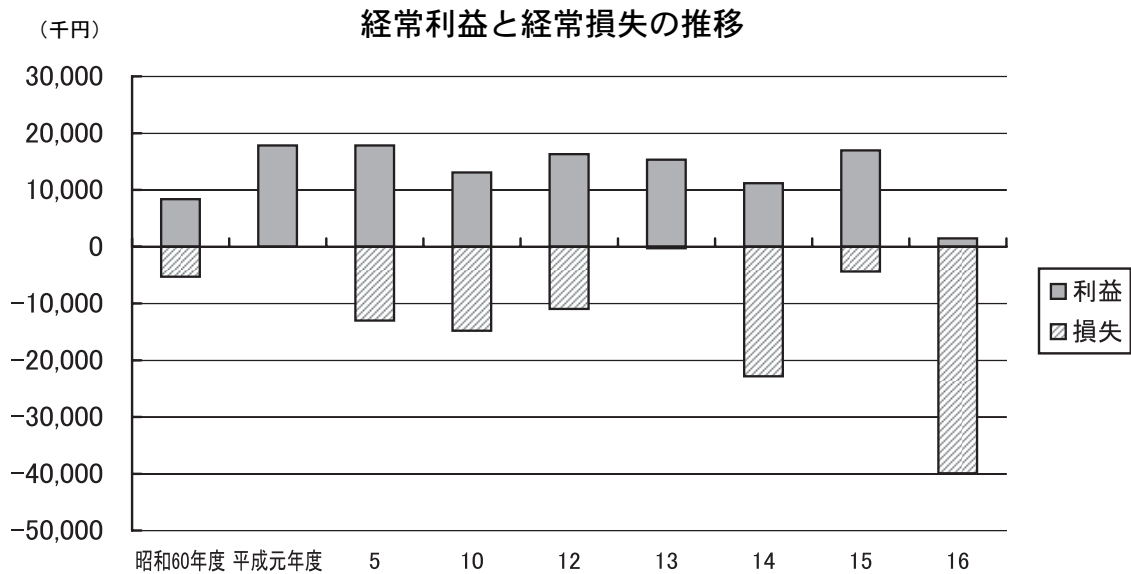


3. 林業経営と県営林

(1) 森林組合



平成16年度末の活動組合は、17組合あり、組合員数16,701人で、1組合平均の組合員数は982人となっている。

また、地区内の森林所有者の加入率は31%で全国平均(49%－平成13年度末)より低い。組合員所有森林面積は39,426haで、民有林面積に占める割合は31%である。

払込済出資金額は、117,046千円(1組合平均6,885千円)であるが、1千万円を超える組合は3組合に過ぎず、1百万円以下の組合が6組合あり、組合間の経営規模、事業展開に大きな較差が生じている。

平成16年度事業で経常利益を計上している組合は、6組合で1組合平均239千円であり、前年度に比べ、組合数は8組合減少しており、平均利益額では971千円の減となっている。

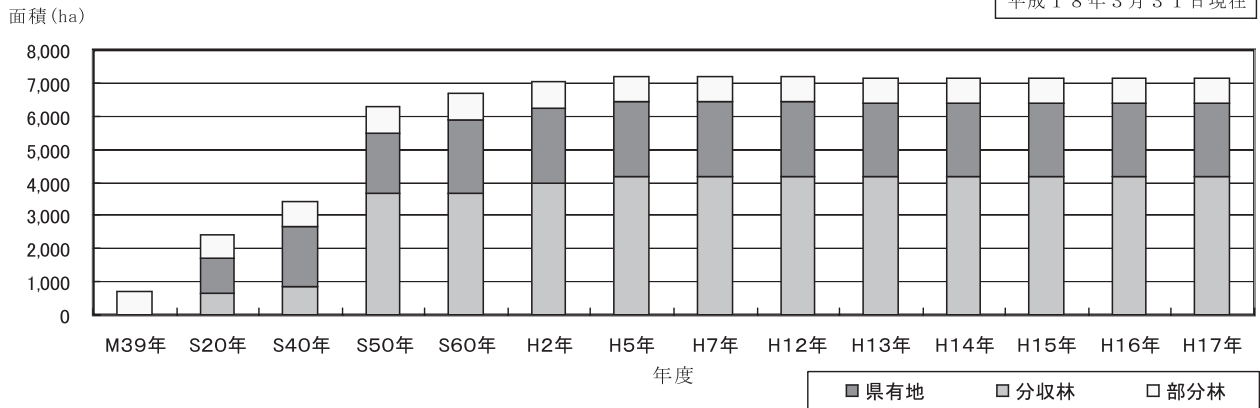
一方、経常損失を計上している組合は11組合で、前年度の5組合から6組合増加した。1組合当たりの平均損失額は3,632千円と、2,744千円増加している。

(2) 県 営 林

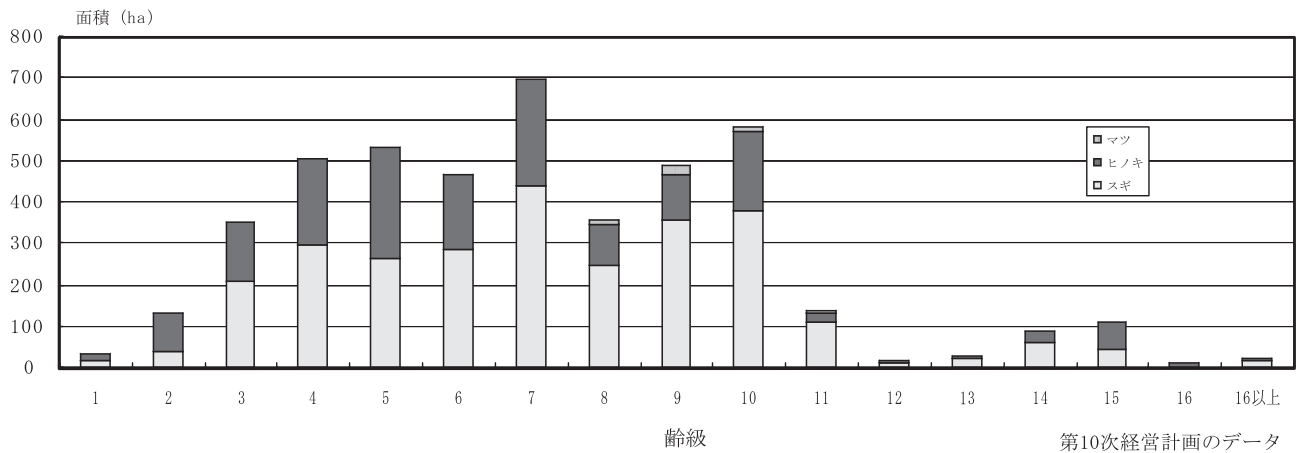
— 県営林の整備をさらに推進 —

県営林面積の推移

平成18年3月31日現在



県営林の齢級別面積



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、平成17年度末の面積は、7,144ha（県有林 4,158ha・分収林 2,237ha・部分林 749ha）で前年度から3ha減少したが、これは道路開設に伴う千倉町健田分収林の一部解除によるものである。地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,871ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,251ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22haとなっている。

造林面積は、17年度実績で8,26ha（再造林 6,03ha）あり、保育は、400haを実施した。また、林産物については、素材 2,092 m³等売り払い 24,856 千円の収入を得た。